

ゴビンダ通信

No 24

発行：無実のゴビンダさんを支える会
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

December 20.2005

Sasaerukai no Mina-san Namaste!

25.11.2005

Daibu Samuku narimashitaga mina-san Ogenkidesuka?
Watashi wa sukoshi genkidesu-ya. Amari karadano soujo,
yume de unasareru nado hizou ni warui no de shinpai
desu. Hayaku kazuoku iru tokoro iku koto dekinai
cum shiranai? Yoku kheken aru no de nihon no saiban-
kan ga hotando okashii, hido sugiru, warui desu.

Saikin fuyuu bassu Suwo mite tanoshinde imasu. Mainichi
asa 8ji kara yugatta 4ji 20 pun made khami bukuro
tsukurae shigoto shite imasu. Sigoto tottemo anzen
desu. Inichi oyosho 100 man izo khami bukuro tsuku-
te imasu. Mina-san kara ireba ireru tame ni itadaita
10,000 yen okane Jannen nagara isya sensei kara "space-
ganai kara irerarenai" to itte imashita ga komari nashi-
ta. kchemusho no naka hayaku gehantobenai to ikenai toyuu
koto arimasu. Awatta 10,000 yen.

Okane mina-san no nasako de-
kodomo tachi ni okuru koto
dekite hountoni arigatai-
koto desu. Mina-san deumo-
arigatou gozaimashita. kokirita

yasumi no toki ego ega, Nihon no ega-
chugoku ega (film) nado minagara-

oidi tabemeno, nomimono tabete - ONE KIND OF MONKEY'S GOD.
tanoshimisuru koto dekimasu. Mina-san Muzitsu nanoni kono
setzhoi seiketsu itsumade tsuzukeru desyo? Watashi wa kina-
ku ningendesu. Mina-san hayaku kuni kaeritaino de tsukete
kudasai. Yeroshiku onegaishimasu. "Muzitsu" Govinda Prasad Mainali.



ART BY GEMMA WILSON
(Yakshana Kchemusho)

11月23日学習会・現地調査の報告

神奈川高教組主催のフィールドワークに、神奈川高教組から9名、支える会関係者17名、その他12名、合計38名が参加しました。企画運営に当たった「支える会」のスタッフも「予想を大幅に上回る大盛況」とびっくり。この事件に対する人々の関心が、まだ薄れていないことを物語っています。はじめ佃克彦弁護士より事件の概要、渋谷および巣鴨の現場のポイントについて説明を受けました。参加者からは大変つまこんだ質問が飛び出すなど、有意義な時間となりました。

現地調査（渋谷駅 渋谷 円山町）

渋谷駅からゴビンダさんの通勤経路をたどって、当時ゴビンダさんが生活していたアパート、殺人現場となったアパートを訪ねました。フィールドワークの参加者は殺人現場と密接して建つゴビンダさんのアパートの位置関係を見たとき「無実」の心証を強く持つことができましたようです。もしゴビンダさんが犯人なら、自分の殺した女の死体が転がっている部屋のすぐ目と鼻の先に、なおかつ自分の精夜の入っていたコンドームを放置した殺人現場の部屋の隣で、14日間も日常生活を平然とおくれたとはとても思えません。

現地調査（大塚 新庚申塚 現場の民家）

新庚申塚の民家は被害者女性の定期券が発見された場所です。渋谷から山手線に乗り、大塚駅から都電荒川線に乗り換え、「新庚申塚駅」で下車をします。この定期券の発見場所は有力な無罪証拠の一つと考えられています。1997年3月8日に殺害された被害者女性の定期入れは、殺人事件が発生したとされる日から4日後（19日に遺体が発見される数日前）に、新庚申塚駅近くの民家の庭先に捨てられているのが見つかっています。場所はゴビンダさんの全く土地勘のない場所で、しかも山手線からさらに都電を乗り継ぎ、入り組んだ民家の路地を行かねばなりません。「真犯人」は何のために定期入れを奪い去り、こんな袋小路のようなところに捨てていったのか？

参加者の感想から

「佃弁護士の抑制のきいたレクチャーは、よかったです。（支援者に対して）現場検証も、納得いくまで、ていねいにされていて、感心しました。現場百回ですよ」

「高教組主催のフィールドワークというより、ゴビンダさんを支える会の学習会に神高教からも9名が参加した、というのが実態ですね。いろいろ勉強になりました。私は、友人にすすめられて読んだ佐野眞一著『東電OL殺人事件』の印象が強くて、この本の現場を歩く...という感じでした。一番感心したのは、冤罪事件の当事者を支えている人たちの「熱意」です。冤罪には現社や政経で、一定の時間を割いてきましたが、生徒も関心を寄せる実感をもってます」

最後に、フィールドワークの企画から、当日の運営、案内まで「支える会」事務局の皆さんのお力無しには実現できませんでした。ありがとうございました。（高橋徹）

2 月学習会のお知らせ

(* 詳細は、同封のチラシをごらんください)

日時 2006 年 2 月 18 日 (土) 午後 1 時 30 分開場 午後 2 時 ~ 4 時
会場 渋谷区立勤労福祉会館 第 2 洋室
内容 「 **法廷通訳** ~ 外国語で裁判を受けるってどういうこと?
ニック・ベイカー事件、メルボルン事件から課題と問題点を探る」
講師 熊野里砂氏 (通訳者、ニック・ベイカーさん支援者)
ゲスト 勝野正治氏 (メルボルン事件冤罪被害者)

2006 年ゴビンダさん支援集会の予告

(* 詳細は、次号通信にチラシ同封)

日時 2006 年 4 月 8 日 (土) 午後 1 時 30 分開場 午後 2 時 ~ 5 時
会場 「 幼きイエス会 」 9 階ホール (JR 四谷駅麹町口徒歩 1 分)
内容 再審の現状、支援の取り組み、他の再審・冤罪事件との連帯など

日弁連による審査面会

11 月 28 日午後 2 時から、日弁連人権擁護委員会の秋山賢三先生、今村核先生、佐藤善博先生、人権部の矢吉正志先生、ゴビンダ弁護団の神田安積先生が、ネパール語通訳同伴で、横浜刑務所を訪れゴビンダさんに面会しました。

予告されていたとはいえ、いっぺんに 5 人もの弁護士を前にしたゴビンダさん、さすがに緊張しながらも、「本当にあなたは無実なんですか?」という確認に対して、「はい、そのとおりです」と明快な返答をしたとのこと。

ゴビンダさんからも「正式に決定したら、日弁連は、どのような支援をしてくださるのですか?」という質問があり、それに対して日弁連からは「再審の経費 (経済的援助) 、弁護団の増強」などという回答があったそうです。

約 1 時間の面会を終えて出てこられた秋山先生は、「ゴビンダさんはとても喜んでいました。とても純粋な青年ですね。真剣に訴えていることを強く感じました。あとは我々が調査報告を出して、来年 3 月に正式決定になればと思っています」とおっしゃっていました。

東京高裁に対する要請を開始

12 月 15 日、東京高裁第四刑事部に対して、ゴビンダさんの再審請求後初めての要請を行い、みなさまからお寄せいただいた 533 筆の署名を提出してきました。

12 時から 1 時までの宣伝行動には 4 名が参加し、裁判所前でピラマキを行いました。昼食休憩後、布川事件の要請に続いて、2 時 30 分から国民救援会の山田善二郎会長とゴビンダ支援者 6 名が高裁の中に入り、訟廷課の書記官 3 名に対して、一審無罪なのに強引に勾留した上、逆転有罪にした高裁判決がきわめて不正義であること、無実なのに無期懲役刑を強いられゴビンダさんが非常に苦しんでいること、今も誤判からの救済を痛切に求めていること、また、一人一人がゴビンダさんを支援してきて感じている思いをそれぞれの言葉で訴えました。これからも獄中のゴビンダさんや支援者の声を、直接、裁判所に届けていきたいと思っています。来春の次回要請には、もっと多くの方が参加して下さるよう、もっとたくさんの署名を提出できるよう、ご協力よろしくお願いたします。

ゴビンダさん面会報告

12月20日、今年最後の面会に行ってきました。

「寒い中、来てくださってありがとうございます」と気遣ってくれたので、「ゴビンダさんこそ、毎日寒くて大変でしょ」と言うと、「工場はストーブがあるので暖かい。でも自分の部屋は、冷蔵庫！」

「差入れした防寒用の下着は、もう着てるの？」と訊くと、作業着の襟元を開いてベージュ色の下着を見せてくれました。

「今年の仕事も28日でおしまい。暮正月休みの間は、ずっと布団に入っているのもいいから暖かく過ごせます。美味しいもの食べたり、映画も見れるので楽しみ」とのこと。

11月28日の日弁連面会には、非常に勇気づけられたようです。来春にも正式に支援が決まれば、ゴビンダさんが冤罪であることが、今よりもっと広く世間に認知されるようになると話すと、「再審が大変なこと、わかってるけど、あまり嘆いてばかりいないで、なるべくポジティブな考えかたをしようと思って」などと今までにないほど明るい表情で話していました。

「あまり先のこと考えるとつらいから、一日一日、一年一年を大切に過ごしましょう。その積み重ねがいつか必ずよい結果につながるから」と言うと、「はい！」と力強い返事。「みんなゴビンダさんのこと応援してるから、がんばって。それじゃ、よいお年を！」と、窓越しに手を合わせ、今年最後の面会を終えました。(客野) *詳細はHPに掲載中

青梅信金冤罪事件：まさみさん民事で和解成立

11月21日、東京地裁八王子支部において、斎藤まさみさんと青信の間で和解が成立しました。裁判所の職権和解勧告を受けた形になってはいますが、じつは青信の方から民事を取り下げたいとの申し入れがあり、「2004年7月28日にさいたま地方裁判所川越支部で確定したまさみさんの無罪判決を尊重するとともに、まさみさんを刑事被告人その他の不利益な立場に置いたことについて遺憾の意を表明する」との勝利的な和解内容です。ここに到達するまでに、まさみさんもご家族もさぞ辛く苦しかったことでしょう。これでようやく長かった訴訟から解放されますね。本当におめでとうございます。

事務局からのお知らせとお願い

事務局会議：隔月第2火曜日 午後7時～9時 現代人文社：信濃町駅下車徒歩5分
<次回は2月14日(火)> 会員ならどなたでも参加できる開かれた会議です。

みなさまからゴビンダさんへの年賀状を下記事務局宛にお送りください。

次回面会のとき持参して、本人に見せてあげることができます。

毎度恐縮ですが、年末カンパ、どうぞよろしくお願いいいたします。

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

〒160-0016 東京都新宿区信濃町20 佐藤ビル201 現代人文社気付 TEL：080-6550-4669

e-mail：govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>